# 令和２年第１回大仙市教育委員会定例会議事録

令和２年第１回大仙市教育委員会定例会を令和２年１月２４日（金）午後４時から大曲図書館において開催した。

出席者

教育長　吉　川　正　一
委　員　風　登　森　一
　　鈴 木 松右衛門（直樹）
　　工　藤　浩　一
　　中　島　　康
　　髙　見　文　子

説明員

| | |
|---|---|
| 教育指導部長 | 佐　藤　英　樹 |
| 生涯学習部長 | 安　達　成　年 |
| 教育総務課長 | 田　口　広　龍 |
| 教育指導課長 | 島　田　　智 |
| 学校給食総合センター所長 | 俵　谷　憲　朗 |
| 生涯学習課長 | 大　沼　利　樹 |
| 文化財保護課長 | 熊　谷　直　栄 |
| スポーツ振興課参事 | 鈴　木　貴　博 |
| 総合図書館長 | 岡　田　久美子 |
| 総合市民会館長 | 品　川　雄　喜 |
| 花火伝統文化継承資料館長 | 竹　村　宏　之 |
| 教育研究所長 | 櫻　田　　武 |
| 花館公民館長 | 寺　村　彰　浩 |
| 神岡中央公民館長 | 藤　井　良　子 |
| 西仙北中央公民館長 | 小山田　幸　哉 |
| 中仙公民館長 | 髙　橋　千　秋 |
| 協和公民館副主幹 | 武　藤　真貴子 |
| 南外公民館長 | 佐　藤　政　利 |
| 仙北公民館長 | 小　松　暢　子 |
| 太田公民館長 | 黒　澤　伸　朗 |

書記

| | |
|---|---|
| 教育総務課主幹 | 小　松　和　範 |

吉川教育長

委員の皆様、年初めのお忙しい中、御出席いただきまして誠にありがとうございます。

本日は、全員御出席です。書記に小松主幹を指名いたします。

ただいまから、第１回大仙市教育委員会定例会を開催いたします。

前回定例会の議事録は、ただいま、委員の皆様からの署名をもって、承認していただきました。

さて、令和も２年目となりました。今年の私の言葉は「しんか」としております。この「しんか」には三つの意味がありまして、これまでの取組の更なる「進化」と、それが根付くように「深化」させ、しっかりと評価されるよう、その「真価」が問われることのないようにしたいという思いからです。

特に今年は、児童生徒ばかりでなく、少しでも多くの市民にふるさと大仙の素晴らしさを知ってもらい、ふるさとに誇りを持ってもらいたいという思いから、仮称ではありますが、「大仙まるごと楽園（がくえん）」づくりを進めていきたいと思っております。皆様のお手元に配付しておりますＡ４判の資料を御覧いただきたいと思います。こちらに記載されておりますが、地域活性化に寄与できる子供の育成を目指した取組を、市民に広げる活動へと進めていきたいと思っております。文化財を一つ例に挙げましても、大人の市民でも大仙市にどういった文化財があるのか、全く御存知ない方もおられました。そういったことから子供像を一般市民化して、ふるさとに誇りを持てる市民づくりを進めていきたいと思った次第であります。予算的には厳しいと思いますが、ゼロ予算でも進めていけることはあると考えております。具体的な取組内容は検討中ですが、取組案が出来次第、提案していきたいと思いますので、御指導くださいますようよろしくお願いいたします。

それでは、資料の１ページを御覧ください。

まず、学校教育の中の主な教育活動等についてでありますが、１月４日から１２日まで、オーストラリアへの中学生海外派遣が行われました。参加した１８名全員が元気に全日程をこなし、体調を崩した子供もおらず、無事終了しております。どの生徒も満足した顔で帰国したということです。この後、２月の発表会へ向けての準備にかかります。参加した生徒がふるさと大仙のよさを再確認し、地域を元気づける一人として成長していってもらいたいと思っております。

また、３回目となる中学生議会が１月９日に本会議場で行われました。市内全中学校から２名ずつ計２２名の中学生議員が出席し、市の各分野の取組について様々な提案がなされました。その質問の要旨と答弁は別添資料のとおりであります。いずれ、提案された内容については検討していくこととしております。

研修等では、今年も人気のある教育委員会主催の企業等訪問が、四日間にわたって開催されました。昨年と同じ七つの企業や農業法人等で、多くの子供たちが企業見学や農業体験をしております。また、１月２３日に、市民参加型としては６回目となる「大仙市いっせい防災行動訓練・シェイクアウト訓練」が、全小・中学校も参加し、目標４万人を目指して実施されております。

県外視察では、１月２８日に、岩手県教育委員会県北教育事務所の指導主事の先生方が中仙小、中仙中を訪問する予定です。

次に社会教育関係ですが、１月７日に１４回目となる大仙市民書初め大会が大曲体育館で開かれました。今年もオープニングで大曲高校の書道パフォーマンスが披露された後、小学生から高校生まで、昨年より１０名程多い９６名の方々が書初めに挑戦し、新年にふさわしい力強い筆運びで、作品を書き上げておりました。

次に、文化財関係ですが、１月２６日、翌週日曜日に古四王神社の文化財防火デーの取組が行なわれます。このときは、東大曲小学校の児童による防火訓練をはじめ、火消しもちまつりや雪中田植えなども行われる予定です。なお、古四王神社は今年建立４５０年を迎えるということであります。

次に、社会体育関係では、１月５日に大仙市体育協会大曲支部のスポーツ賞の表彰式と新年のつどいが開かれ、大曲支部の各地域で長年にわたってスポーツ振興に御尽力いただいた４名の方々に功労賞が贈られております。

なお、今月開催された全国都道府県対抗駅伝秋田県チームの女子で２名、男子で中学生１名を含む３名が大仙市出身者であり、力走してくれました。

また、１月２０日現在、既にスポ少の全国大会出場を決めているところもあり、全国での健闘を祈りたいと思います。現在のところで分かっているのは、野球、ソフトテニス、バレーボール、卓球であります。野球については、選抜チームでの出場で、兵庫県淡路島を会場に行われる予定です。

最後に、安全・安心についてでありますが、学校給食、児童生徒の事故等ともに、特に問題となる事案はございませんでした。

以上で、私からの報告を終わります。

それでは、次に各課・所・館から事務事業・行事報告をしていただきます。まず、教育総務課長、お願いします。

教育総務課長

それでは、会議資料２ページを御覧ください。

教育総務課は、２項目記載のとおりであります。以上です。

吉川教育長

次に、教育指導課長、お願いします。

教育指導課長

教育指導課は、１２項目記載しております。

その中の２番と３番の「大仙ふるさと博士育成」事業について、こちらには保護者の方も含めた参加人数を記載しております。大変人気のある事業でありまして、たくさんの子供たちと保護者の方々から参加いただいております。

続きまして４番の大仙市中学生議会についてですが、現在、この時の様子が議会のホームページで閲覧できるようになっておりますので、皆様も御覧いただければと思います。

最後に６番、こころのバリアフリー講演会には、市内の支援員の皆様を含む１３０人の方々が参加しております。教育指導課は、以上です。

吉川教育長
　次に、学校給食総合センター所長、お願いします。

学校給食総合センター所長
　学校給食総合センターは、４項目記載しております。そのうちの２番、地場農産物供給推進事業に係る説明会が、学校給食総合センターにおいて行われ、農業振興課の事業についての説明を受けております。以上でございます。

吉川教育長
　次に、生涯学習課長、お願いします。

生涯学習課長
　生涯学習課は、記載の２項目であります。先ほど教育長からもお話がありましたが、１番の１月７日に行われました「第１４回大仙市民書初め大会」につきましては、小学生・中学生・高校生、合わせて９６名の参加があり、それぞれの思いを込めて筆を走らせていました。なお、出来上がった作品については、１月１１日から１９日まで、大曲交流センターに展示し、皆様から御鑑賞いただいております。生涯学習課は、以上です。

吉川教育長
　次に、文化財保護課長、お願いします。

文化財保護課長
　文化財保護課は、４項目記載のとおりでございます。以上です。

吉川教育長
　次に、スポーツ振興課長、お願いします。

スポーツ振興課参事
　スポーツ振興課は６項目記載しておりますが、そのうちの５番、株式会社ミズノ包括連携協定協議では、協定式に向けた事務局間の調整を行っており、順調に進んでいるところです。１月３１日には、株式会社ミズノ東北支社長が市長を表敬訪問する予定となっており、協定式は３月１６日に行われることが決定しております。以上です。

吉川教育長
　次に、総合図書館長、お願いします。

総合図書館長
　総合図書館は、５項目記載しております。そのうちの４番、１月２１日の選書会議には１２人が出席しております。以上です。

吉川教育長
　次に、総合市民会館長、お願いします。

総合市民会館長
　総合市民会館は、２項目記載しております。
　１番の映画無料上映会については、明日の午後２時から、大曲市民会館小ホールを会場として行う予定となっております。市内の小学５・６年生及び中学１・２年生全員に入場整理券を配布しており、教育指導部長から各校の校長先生に鑑賞の御案内を改めてしていただいたところ、より一段と関心が高まったと感じております。一般の入場整理券の配布枚数も２５０枚を超えており、皆様から御来場いただけるよう今から準備を進めているところです。
　また、お手元に南こうせつさんのコンサートのチラシを配付しております。こちらの前売りチケットを、明日の午前８時３０分から大曲中央公民館にて販売いたします。現在、ＣＭでも放送されておりますが、大仙市が共催となっておりますので、販売に向けて準備を進めているところです。以上です。

吉川教育長
　次に、花火伝統文化継承資料館長、お願いします。

花火伝統文化継承資料館長
　はなび・アムは、３項目記載しております。そのうちの３番について、３階の花火資料室では、年２回の企画展を行っております。現在は、「全国花火競技大会受賞作品展」を開催しておりますが、今月中に展示を終了することになっております。２月からは「大曲の花火大会提供花火のヒミツ」の企画展を開催する予定で、構想から完成までどのような過程を経て作られているのか、皆様の疑問に答えることのできるような展示と、新たな発見をしてもらえるような企画を盛り込んでおります。その展示替えの作業を一週間程行いまして、２月４日から開催する予定で準備を進めております。以上です。

吉川教育長
　次に、花館公民館長、お願いします。

花館公民館長
　花館公民館は、８項目記載しております。
　はじめに４番のスキー教室について、この教室は、花館小学校の１・２年生で、スキー初心者かあまり滑るのが得意でない児童を対象として募集したものでしたが、大曲ファミリースキー場が積雪不足であるため中止となっております。
　この積雪不足で、２月１１日の川を渡るぼんでんにも影響があるものと見込まれます。ぼんでんは通常どおり川を渡す予定ですが、渡船会場のまかないに関して、現地に雪がある場合は、踏み固めることで車の乗り入れが可能になるのですが、現在は、田植え作業を行う時の田んぼのようなぬかるみ状態になっていて、例え重機を入れて踏み固めても車の

乗り入れができるほどにはならないと思われるため、規模を縮小して行う予定になっております。同様に、伊豆山の山道にも雪がなく滑る状態であり、各町内の方々に気を付けるよう注意しているところであります。

また、このぼんでんに関連しまして、例年、花館小学校の児童からペットボトルを利用したミニぼんでんを作っていただいて、川を渡るぼんでんを盛り上げてもらっています。小学６年生から作っていただいたこのミニぼんでんを、本日から１月２７日午後３時までは市役所本庁玄関左側に、そのあと１月２７日午後３時過ぎから２月１０日まではＪＲ大曲駅ハミングロードに、そして、川を渡るぼんでん当日は渡船会場に行く通路の両側に展示することになっております。例年であれば、６年生が作成した分の６０本くらいを展示しているのですが、今年は全校児童分４１０本を展示する予定になっております。今後の降雪状況によっては、予定どおりにいかないことも出てくるかもしれませんが、皆様から足を運んでいただければ幸いと思います。以上です。

吉川教育長

次に、神岡中央公民館長、お願いします。

神岡中央公民館長

神岡中央公民館は、２項目記載しております。１番のジュニアスキー教室は、花館公民館と同様に、大曲ファミリースキー場での開催予定であったため、積雪不足で中止になっております。以上です。

吉川教育長

このほか２番に記載されている行事について、神岡中央公民館の建物の近くにプールがあるのですが、こちらはＢ＆Ｇ財団の協力を得て整備されたプールで、そのＢ＆Ｇ全国サミットが、１月２１日に東京都で開催されております。今回、特Ａ評価という一番よい評価を頂きましのたので御報告いたします。

次に、西仙北中央公民館長、お願いします。

西仙北中央公民館長

西仙北中央公民館は、８項目記載しております。刈和野の大綱引き関係の事業が主になっておりますが、その中の８番、綱よい体験作業では、小学５・６年生９７人、中学１・２年生９０人が参加して、上町と下町の二手に別れて大綱の綱よい体験を行うことになっております。１月３１日の午後から作業を行いますので、大綱が出来上がる様子を皆様から御覧いただければと思います。以上です。

吉川教育長

次に、中仙公民館長、お願いします。

中仙公民館長

中仙公民館は、４項目記載しております。その中の３番、優秀映画鑑賞会について、明

日と明後日の二日間、ドンパルにおいて開催する予定になっております。今年度は、市川昆監督の「東京オリンピック」など４作品を上映することになっております。土曜日と日曜日それぞれ２作品ずつ上映し、土曜日の１月２５日は午後１時から、日曜日の１月２６日は午後０時３０分から開始する予定となっております。以上です。

吉川教育長
　次に、協和公民館長、お願いします。

協和公民館副主幹
　協和公民館は、６項目記載しております。本日以降の行事となりますが、６番の映画無料上映会を和ピアを会場として、1月２６日午後２時から上映する予定になっております。
　まだ少し整理券に余裕がありますので、是非お越しいただければと思います。以上です。

吉川教育長
　次に、南外公民館長、お願いします。

南外公民館長
　南外公民館は、５項目記載しております。第７回南外小唄まつりが、２月１日と２日の二日間にわたって開催される予定となっており、その最終実行委員会が１月１７日に行われました。南外公民館まつりのメインイベントとして、２月２日の午後０時４０分から南外小唄コンクールが行われます。出場者数は、一般の部に４０人、年少の部に１０人の計５０人が出場することになっております。特に、年少の部の１０人のうち６人は地元南外の小・中学生ということで、関係者一同、大変喜んでいるところであります。これまで年少の部には、秋田市の子供たちが中心的に出場しており、昨年初めて地元南外の子供が二人出場してくれましたが、今年は６人も出場してくれるとのことで、これも地元民謡関係者の学校への普及活動の成果と思って喜んでおります。また、今年も小野花子さんがゲスト審査員で来てくださることになっており、審査集計の時間を利用して歌も披露してくださる予定です。当日御都合のつく方は、是非南外公民館にお越しいただき、子供たちの練習の成果をお聴きいただければありがたく思います。以上です。

吉川教育長
　次に、仙北公民館長、お願いします。

仙北公民館長
　仙北公民館は、７項目記載しております。そのうちの６番の史跡の里づくり委員会において、来月１日開催予定の払田柵冬まつりの中止を決定いたしました。また同日、仙北公民館共催の雪んこまつりを予定しておりますが、雪がないため会場を払田柵跡からふれあい文化センターイベントホールに変更して、子供たちが屋内で体を動かして楽しめるようなイベントを実施する予定となっております。仙北公民館は、以上です。

吉川教育長
　最後に、太田公民館長、お願いします。

太田公民館長
　太田公民館は、７項目記載のとおりであります。なお、２月１日土曜日開催予定の太田の火まつりにつきまして、今日から会場に雪を運ぶなどして開催に向けて準備を頑張っているところですので、御都合がつく方は、是非御来場くださいますようお願いいたします。以上です。

吉川教育長
　この雪不足の影響により、公民館関係の冬行事が中止あるいは変更して開催されております。行事の内容によっては、雪がないことが危険につながる場合もありますので、そういったところを十分配慮して、安全を第一に考えて対応していきたいと思っております。
　以上、各課・所・館から事務事業・行事報告をしていただきました。ただいまの報告につきまして、委員の皆様から御質問等ございましたら、お願いいたします。

鈴木委員
　花火伝統文化継承資料館の２番の小野崎晶さん絵画寄贈について、市民の方と資料館がつながっているということは、非常によいことだと感じました。伝統ある花火の資料を展示するだけではなく、今を生きている人の作品が飾られることで、より一層市民の方と身近なつながりができると思いました。
　大曲の花火は大変有名なイベントであり、大勢の方がいらっしゃいます。その来られたお客様一人一人に、思い出やドラマがあるではないかと思っております。例えば手紙形式でも文章でもよいと思いますので、そういった感想や思い出を記したものを応募していただいて、それを「思い出の大曲の花火」といったような作品集にするとか、あるいは映像で記録に残していくとか、そういった取組をすることで、もっと身近な自分たちの資料館になっていくのではないかと思いました。
　例としてお話しましたが、こういった資料館などでは、もっと積極的な能動的な取組が求められていると思います。よい作品については、映画化やドラマ化してみたり、またそれに合った音楽を作ってもらうなど、そういった発想もあるのではないかと感じました。私自身の考えの根底として、町おこしは、積極的かつ戦略的にやっていかなければならないと思っておりますので、提案としてお話いたしました。以上であります。

吉川教育長
　はい、ありがとうございます。花火に関わった作品としては、花火歌ということを毎年やっておりまして、小学生から大人まで短歌や川柳や俳句などを詠んでいただいております。更にその取組を広げていくということで、鈴木委員から御提案のあったとおり、花火を観に来ていただいたお客様から、花火にまつわる思いを手紙にしてもらい、コンクールを開催するといったことも考えられますので、花火伝統文化継承資料館長からも積極的に取り組んでいただきたいと思います。

御提案ありがとうございました。ほかにございませんでしょうか。

風登委員
花火伝統文化継承資料館長に御質問いたします。年末年始の特別開館日として、昨年の１２月２９日と３０日、今年の１月２日と３日は資料館を開館していたと思いますが、その四日間の来館者数や状況について教えていただけませんでしょうか。

花火伝統文化継承資料館長
帰省された方とこちらにいる家族の方々が、一緒に来館くださったというケースが多かったと感じております。来館者数につきましては、一日平均にしますと５０人前後で、四日間で約２００人から御来館いただいております。

風登委員
年末年始の四日間、こちらに帰省される方を見込んだ上で、職員の方が出勤して開館していたものと思われるのですが、年末年始だけ行っている特別な催し物やイベントなどは企画していたのかということと、帰省される方に来ていただきたいのであれば、例えば、駅の構内に、はなび・アムでは、年末年始も特別に開館してこのようなことを行っています。といったようなポスターなどを掲示するなどして、お客様を呼び込む活動をしていたものかお聞かせいただければと思います。

花火伝統文化継承資料館長
呼び込むための活動としては、ホームページに掲載するなどＳＮＳを利用して、ＰＲをしておりますが、駅などにポスターを貼ったり、人が集まる場所でチラシを配布するなどの活動は行っておりません。また、特別な催し物とはいえないかもしれませんが、シリアルナンバーの付いたスタンプ台紙を作成しまして、年明けにいらっしゃった方には、ナンバリングした枚数限定のスタンプ台紙を差し上げる企画を行っております。

風登委員
お客様の反応はいかがでしたでしょうか。

花火伝統文化継承資料館長
いらっしゃったお客様が、お子様連れの御家族が多かったこともあり、非常に好評でありました。

風登委員
年末年始特別開館期間の一日平均来館者数が５０人前後とのことでしたが、通常期と比較した場合、この来館者数について、館長さんはどのように思われますか。

花火伝統文化継承資料館長
夏場と比較して冬場はお客様の足が遠のく傾向にあると感じておりますが、今回の年末

年始は長期間の休みとなりましたので、できればもう少しお客様から来ていただきたかったという思いはあります。

風登委員
　年末年始、四日間にわたり特別開館することで、館長さんをはじめ職員の方々はいろいろなことを考えたと思われますが、来年はどのようにしていきたいのか、お考えを教えていただきたいと思います。

花火伝統文化継承資料館長
　現段階では、具体的な案としては思い浮かんでおりませんが、これから検討していきたいと考えております。

風登委員
　やってよかったことや、もっとこうすればお客様を呼び込むことができたのではといった反省など、今年やってみて感じたことを積極的に話題にして、いろいろな情報を集めながら、是非頑張っていただきたいと思います。

吉川教育長
　年末年始は、帰省された方が御来館くださることを見込んで、特別に開館したわけですが、今年度始めたばかりですので、来年度すぐにやめるというわけにはいかないものと思っております。年末年始の四日間だけの企画を実施するというのは難しい面もあるかもしれませんが、インパクトや付加価値のある催しがあれば、もっと客足が増えるものと考えております。

風登委員
　職員の方は、年末年始のお忙しい期間に頑張って出勤されているものと思いますので、もっと周知に力を入れて、来館者の増加を図る活動をしていただければと思います。帰省された方だけでなく、大仙市民でも年末年始に特別に開館していることを知らない方がいるものと思われます。ＰＲの仕方を工夫し、来館者を増やすことにより、いろいろな人から意見をいただける機会がもっと増えてくると思いますので、その意見を集めて、お客様のニーズに合った企画やイベントを開催するためのヒントとして生かしていただきたいと思います。

花火伝統文化継承資料館長
　はい、分かりました。ありがとうございます。

吉川教育長
　ほかに、ございませんでしょうか。

工藤委員
　シェイクアウト訓練について、目標人数が４万人となっておりました。どこかと競うということはないと思いますが、周知活動はどのようにして行っているのでしょうか。

吉川教育長
　前もって市の広報に掲載しております。また、市内の企業にも前もってお願いしているものと思われます。昨日のことですので、教育委員会と連携している学校関係については参加人数を把握しておりますが、シェイクアウト訓練の統括は別部署となりますので、企業関係を含む全体の参加人数についてはまだ分かっておりません。

工藤委員
　企業も訓練に参加しているということですね。分かりました、ありがとうございます。

吉川教育長
　ほかに、ございませんでしょうか。

鈴木委員
　このシェイクアウト訓練とは、具体的にどういった訓練なのでしょうか。

吉川教育長
　このシェイクアウト訓練は、友好都市である座間市が実施していたもので、地震が発生した場合を想定した訓練であります。地震が起こったら最初にこういった場所に隠れる、次に頭を守ってじっとしているというような、初動のわずか数十秒間の行動訓練することをシェイクアウト訓練と呼んでおります。座間市で実施している防災訓練と同様の訓練を、大仙市でも行っているものです。

鈴木委員
　分かりました。ただ、シェイクアウト訓練という名称は、一般の人にはなかなか分かりにくいと思います。漢字表記など分かりやすいように変更できないものでしょうか。

吉川教育長
　この訓練自体は、市の総合防災課が主担当となって実施しております。名称を変えるとなれば全市的な調整が必要になってくるものと思われますので、ネーミングや周知の方法について、御意見があったことを総合防災課に伝えていきたいと思います。

鈴木委員
　ありがとうございます。

吉川教育長
　ほかに、ございませんでしょうか。

風登委員
　前回の定例会で、学力向上フォーラムのアンケートの冊子をいただきましたので、一通り目を通しました。秋田県外から来られた方々は、公開授業はもちろんですが、運営や応対についても褒めてくださっており、得るものが多かったのではないかと感じているところです。大仙市の公開授業を参観した方々は、先生だけでなく児童生徒たちにもすごく感心していらっしゃるようでした。私たちが保護者として当たり前のように思っていることや、当たり前のような授業が非常に高く評価されており、このような評価をいただけたことを誇りに感じました。
　しかし、正直申し上げますと、この冊子は非常に分厚くて読むのが大変だと感じました。頑張ってまとめられたとは思いますが、アンケートの内容が重複しているものも多いと感じましたので、見やすさを重視した簡易版のようなものを作成してもよいのではないかと思いました。担当課の手持ち資料としては、最高のものであると思っておりますが、アンケートでは、先ほどお話した内容のものが多数見受けられましたので、前回の定例会で教育長が内容の要旨をまとめておっしゃられたように、アンケート内容をまとめたものがあれば、見やすくなると思いますので、御配慮いただければ幸いです。

教育指導部長
　参観いただいたあとのコメントを、まずは担当の方で一生懸命頑張りながら、漏れなく全て手入力して、見える化・記録化したというところであり、内容を伝えるものとしては、現段階においてその冊子が一番であると思っております。一方で、例えば授業についてですとか、大会運営についてですとか、様々なジャンルでまとめながら、より分かりやすくお伝えしていかなければならないというのは、今後の宿題だと思っておりますので、頂いた御意見を参考にして取り組んでまいりたいと思います。文科省の事業としてもまとめなければいけない節目にきているところでありますので、それを有効活用しながら、更に発信するアイテムの一つとして、今後考えていけたらと思っております。

風登委員
　公開授業をされた先生方には、その先生ごとに伝えているのでしょうか。

教育指導部長
　学校にはお伝えしております。

風登委員
　改善点とか、要望などを書かれていた方もおりましたので、それはそれでまとめられているものでしょうか。

教育指導部長
　まずはお伝えしているところでありますが、この後、そういったまとめも兼ねた形で、どう改善していったらよいのかについても検討を重ねていかなければならないと思ってお

ります。

風登委員
　指導主事の先生方が非常にお忙しい中、これだけのものをまとめるには、大変時間がかかったものと思われますので、これは有効に活用していくべきであると考えております。しかし、先ほど申し上げましたとおり、事務局にとっては最高の手持ち資料になると思いますが、もっといろいろな方に読んでいただくことを考えると、ちょっと手に取りにくいですし、あまりにも分厚いので、もらってよいものかためらってしまう方もいらっしゃると思いますので、あえて申し上げた次第であります。

吉川教育長
　この冊子の一番の目的は､実施に協力してくださった学校や授業をしてくださった方へ、アンケート内容を還元し、今後の方針や授業に役立てていただくということで作成しているものであります。この冊子については、学校関係者に向けて作成しているものであり、市民の皆様から見ていただくという視点で作ったものではありませんが、風登委員がおっしゃったように、多くの方から見ていただくことも重要であると思いますので、早急にできる対応として、大仙市のホームページの教育委員会教育指導課のところに、アンケートの内容をまとめたものを掲載していきたいと考えております。
　ありがとうございました。ほかにございませんでしょうか。

中島委員
　神岡中央公民館の行事報告で、教育長がおっしゃっられていたＢ＆Ｇ全国サミットのＢ＆Ｇとは何かを略した言葉なのでしょうか。

スポーツ振興課参事
　Ｂ＆Ｇはブルーシー・アンド・グリーンランドの略で、笹川スポーツ財団が基となったＢ＆Ｇ財団からきているものです。神岡地域のＢ＆Ｇ海洋プールは、プールをオープンする際に、この財団から助成金をいただいております。また、こうしたプールを改修するための助成金もありますが、活動をどのくらいしっかりやっているのかといった財団の評価があり、それにより助成金の金額も変わってくることになります。全国サミットにしっかり出席するといったことも評価の上で非常に重要になってくるものと思われ、今回、教育長が出席くださったこともあり、特Ａの評価をいただけたものと考えております。

吉川教育長
　プールや体育館などを整備する際に、Ｂ＆Ｇ財団から助成金をいただいているところが全国各地にございます。大仙市では、神岡地域の一か所、Ｂ＆Ｇ海洋センターのプールになりますが、Ｂ＆Ｇ財団から半額以上助成していただいて作ったものと聞いております。Ｂ＆Ｇ財団につきましては、全国的な組織であり、このあと改修する際にも援助をお願いしていくことになるものと思っております。

中島委員
　分かりました。ありがとうございます。

吉川教育長
　ほかに、ございませんでしょうか。

髙見委員
　先日、中学生議会を傍聴させていただきました。今どきの子供たちは、すごく発信力があると思ったのと同時に、私たち大人は、発信する力が弱いのではないかと投げかけられた感じがしました。教育長の構想案にありました「大仙まるごと楽園」の中で、教育委員会統一ホームページのセッティングを掲げておりましたので、積極的に情報を発信するよい取組だと思いますので、非常に楽しみであり期待しているところです。

吉川教育長
　私はこれまで中学生議会に２回出席しておりますが、行政に携わる者にとって一番痛いところを言われたと感じました。観光について一つ例に挙げると、観光のキーワードは「観る、食べる、体験する、この３要素が揃っていなければダメだ」と言われ、むしろ我々が勉強させていただいたといった話もありました。
　御意見ありがとうございます。ほかに、ございませんでしょうか。

各委員（なし）

吉川教育長
　それでは、これで教育長報告を終わらせていただきます。
　今回は、付議案件はございませんので、次第の４番その他に入らせていただきます。
　はじめに、私から２月５日の総合教育会議について、お話させていただきます。
　この会議は、市長が主宰する会議でありますので、まだ詳細は決まっておりませんが、本日、市長と面会して、どういった方向で進めていくのか協議したところであります。
　基本的には、昨年と同じような形で、令和元年度の主な教育施策の概要と今後の課題について、学校教育、生涯学習、スポーツ振興、文化財保護の四つの分野からいくつかの事業を選択して、状況報告と課題を私の方から説明させていただくことになります。それについて、委員の皆様から御意見を頂くといった形で進めていく予定で、これがメインになってくるものと思われます。
　また、すぐに来年度からというわけではありませんが、市長には、教育委員会の組織の在り方を考えてみたいという思いもあるようです。例えば、文化財であれば、もっと観光と融合して、保護だけでなく活用していくような方向性を示したいと考えているようです。国の動きも変わってきており、このあと市長部局への移管ということも視野に入ってきているようです。そういった提案について、市長の方からお話があるかもしれませんので、その際は、御意見あるいは御質問などをしていただければと思います。
　大きな流れとしては、このようになるものと思います。詳細につきましては、改めてお

知らせいたしますが、２月５日水曜日、午前９時３０分から市役所本庁舎３階の大会議室で開催する予定となっておりますので、御出席方よろしくお願いいたします。
　総合教育会議ににつきまして、何か確認したいことなどございませんでしょうか。

各委員（なし）

吉川教育長
　よろしいでしょうか。それでは、よろしくお願いいたします。
　それでは、続きまして、今シーズンのスキー場運営について、生涯学習部長から説明をお願いいたします。

生涯学習部長
　Ａ４判２枚の資料、右上に生涯学習部スポーツ振興課資料と書かれたものと、左上に向こう１か月の天候の見通しと書かれた資料が、皆様のお手元にあると思いますので、そちらを御覧いただきたいと思います。
　はじめに、生涯学習部スポーツ振興課資料と書かれた資料の１番について、こちらには現在のスキー場の状況を記載しております。今シーズンは降雪量が少なく、ゲレンデの積雪不足によりスキー場の通常営業ができておらず、いわゆる開店休業の状態になっております。その下の表に、大曲ファミリースキー場・協和スキー場・大台スキー場の現在の詳細を記載しておりますが、いずれのスキー場とも１月２４日現在の積雪量は、５センチから１０センチまでとなっております。また、大台スキー場は１月３日から７日までの五日間だけ営業しておりましたが、大曲ファミリースキー場と協和スキー場は、いまだに一度も営業できていない状況です。
　現在、この三つのスキー場は、指定管理をお願いしていて、大曲ファミリースキー場と大台スキー場には、それぞれ約９００万円の指定管理料をお支払いしております。また、協和スキー場につきましては、収入が５，０００万円くらいあるものと見込んでおり、収入金で全て賄っていけると予測していたため、指定管理料を０円としておりました。ところが、今シーズンはこのような状況になってしまったため、各スキー場で経営に苦慮しており、このままだとお金の支払いも滞ってしまうのではないかと危惧しているところであります。
　小・中学生のウインター・スポーツ事業で、毎年利用している分の８割の金額を、既に各スキー場に前払いでお支払いしておりますが、それでも足りなくなってきている現状に加え、スキー場が利用できませんので、最終的にはスキー場が受け取ったそのお金を、市に返還しなければならなくなります。また、現在、三つのスキー場の計で７７名の期間従業員の方々が働いております。スキー場は稼動していないものの、待機していただいている状況ですので、その方々にも給料を支払わなければなりませんが、このままだとそれも滞ってしまうおそれがあります。
　次に、２番についてですが、向こう１か月の天候の見通しと書かれた資料を御覧願います。予報のポイントに、寒気が南下しにくいため、向こう１か月は気温が高く、日本海側は降雪量が少ない見込みと記載されています。こちらを参考にしますと、今後の降雪を期

待するのは難しいのではないかと思っております。
　先ほどの資料の３番、今後の方向性を御覧願います。これまでお話したことを踏まえ、今シーズンの営業について、早めに決断しなければならないと考え、スキー場及び学校のスキー教室関係者とも協議しまして、１月いっぱいで営業を終了する方針を示しました。例年であれば、お正月が一番にぎわう時期であり、今シーズンはここで営業できなかったため、赤字になるのはほぼ確実であります。また、これから雪が降ったとしても、今後の見込みから降り続いて積雪量が激増するとは考えにくいと思っております。仮に一日・二日間営業したとしても収入より経費が上回ると見込まれ、その赤字分を市で補填しなければならない状況になるものと思われます。苦渋の決断ではありましたが、関係者の皆様と協議を重ねてきたところ、御理解を頂くことができました。
　これから支払わなければならない期間従業員の待機料なども含めまして、市議会第１回定例会の初日になりますが、２月２１日の市議会に補正予算案を提案し、各スキー場の２月の支払いに間に合うように準備を進めているところです。
　また、本日の朝、市長と両副市長の下へ、教育長と私と担当者が訪れて、１月３１日で営業を終了することをお伝えし、御了承を頂いたところです。そのことを来週早々に、報道機関に周知するとともに、市のホームページに掲載して、市民の皆様にお知らせしたいと考えております。
　以上、御説明申し上げましたが、今後はこのように進めていきたいと考えておりますので、委員の皆様から御理解を頂きたいと思います。

吉川教育長
　はい、ありがとうございました。説明にありましたとおり、今シーズンのスキー場営業は１月３１日をもって終了ということでございます。
　このことにつきまして、委員の皆様から何かございませんか。

風登委員
　こういった決断をしなければならないのは、初めてのことでしょうか。

生涯学習部長
　初めてでございます。過去には２月途中で協和スキー場が営業を終了したことはありますが、他のスキー場は稼動しておりました。三つのスキー場が全てシーズン途中で営業を終了するということは、一度もありませんでした。

中島委員
　天候の見通しが外れて、積雪が多くなったとしても営業を再開することは考えていないものでしょうか。

生涯学習部長
　例年、２月に入ると客足が伸びにくくなりますので、営業を再開しても経費が掛かり増しになり、赤字が膨らむだけになるのではないかと思われます。また、今シーズンは少雪

の影響で開催できませんでしたが、学校関係のスキー教室など大きな事業につきましても、ほとんどが１月中の開催となりますので、この時期に判断するのが最適であると思い、今シーズンにおいては完全に営業を終了することを決断したところであります。

吉川教育長
　生涯学習部長からもお話がありましたが、学校関係につきましては、例年、ほぼ１月中で事業が終わりますし、一般の方については、お正月期間の入り込みが多い傾向にあります。大台スキー場は少し営業できましたが、ほかではまったく営業することができませんでしたので、このまま続けても、これから営業を再開したとしても非常に厳しい状況になると思いましたので、このような決断をしたところであります。
　よろしいでしょうか。ほかにございませんか。

各委員（なし）

吉川教育長
　それでは、続きまして、令和元年度秋田県学習状況調査の概要につきまして、教育研究所長から報告願います。

教育研究所長
　皆様にお配りしているＡ４判のカラーで印刷された資料を御覧願います。
　秋田県学習状況調査は、昨年１２月４日・５日に市内の小学４年生から６年生、中学１年生と２年生を対象として行っております。グラフを見ていただければお分かりになると思われますが、小学生では秋田県の平均正答率を下回る教科があります。ただし、小学６年生では全てに教科において秋田県の平均を上回っております。中学生では１・２年生ともに秋田県の平均を上回っている教科が多いのですが、どちらも数学と英語の平均が秋田県を下回っております。下回っている教科について、私なりにもう少し細かく分析してみたところ、例年と同様に、考える力を問う、思考力や表現力を問う問題の正答率が下がっていたのではないかと予測していたのですが、基本的な知識・技能の正答率が低くなっていたため少々驚きました。
　その理由を考えてみると、学習指導要領が新しくなることにより、その移行としての授業を昨年度から一生懸命やってきたことが一番ではないかと考えております。大仙市は昨年度・今年度と、大曲小・大曲中学校を中心に、文科省の新学習指導要領の授業にも参加しており、今年度は「主体的・対話的で深い学び、アクティブラーニング」の視点からの授業改善を、市内全小・中学校で積極的に取り組んでまいりました。その成果については、学力向上フォーラムでの授業や、この調査での考える力を問う問題の正答率がよかったというところにも表れていると思われます。
　また、新学習指導要領では、評価の観点が変わることになります。大仙市の小・中学校では、既に新しい評価規律の下に授業改善を行ってきました。今回の調査の問題を見ますと、まだ新観点ではない問題も出題されていましたので、授業において行われていた評価問題と、今回の調査で出題された問題とのギャップに、能力を発揮できなかった可能性も

あるのではないかと考えております。教育委員の皆様には、低かった問題の例をお渡ししておりますが、学年と問題によっては、これは確実な理解が必要であると思われる問題もありましたので、先日の教頭会で各校の分析と、習得されていない問題については今年度中の確実な習得をお願いしたところでありますし、２月の校長会においてもお話する予定であります。

なお、正答率の落ちている数学と英語につきましては、市で取り組む課題として、指導主事に誤答の傾向と改善に向けての解説と、フォローアップの問題を作成するように既に指示しております。現在作成中であり、２月の上旬まで各校に送付して、取り組んでもらう予定となっております。以上で報告を終わります。

吉川教育長

基礎となる知識と技能があって、はじめて主体的・対話的で深い学びができるわけであります。特に小学４年生の算数の正答率が低いことについては、危機意識を持って指導していかなければならないと思っているところです。

委員の皆様から何か御意見等ございませんでしょうか。

風登委員

国語と算数について､現在のところ小学４年生では秋田県の平均を下回っているものの、６年生を見ると秋田県の平均を上回っておりますので、近いうちにこのような状況になるものと期待しております。

吉川教育長

ありがとうございます。ほかにございませんか。

工藤委員

私の子供が小学４年生で、担任の先生と時々こういったお話をしているのですが、４年生の中でも掛け算ができなかったり、初歩的なことができない子供が見受けられるということでした。授業前や折をみて掛け算の問題を出して、頭の回転を速くしてから授業に臨んだりするなど、先生方も様々な工夫をしながら授業を行ったりしているようでした。こういったお話を聞いておりましたので、この結果を見て、そのような傾向があるのかなと思ったところでした。算数は、小学生にとって非常に大事な教科であると思っていて、先ほど風登委員がおっしゃったように、４年生では平均を下回っていますが、６年生では秋田県の平均を上回っておりますので、先生方がかなり頑張って上げてくださっていると感じているところであります。

吉川教育長

こちらの資料はこういった傾向にあることをお分かりいただくために示しているものであります。算数が弱いから他のことも駄目だろうということではなく、その子供が持っている能力については、算数だけでは計り知れませんので、一人の人間として全体的に見て育てていくことが重要であると考えております。

また、私が注目しているところは、大仙市の子供たちは、理科と社会の成績が非常によいということです。理科と社会の成績を上げるには、国語と算数の力も必要になるものと思っております。本当に国語と算数が弱いとすれば、理科と社会の成績も落ちてくると考えておりますので、先ほど危機意識を持ってとお話したところではありますが、あまり極端に心配する必要もないのではないかと思っております。いずれ、学校ではこういったことを分析してその対応をしていくものと思います。

よろしいでしょうか。ほかに、委員の皆様からなにかございませんか。

吉川教育長

学校におけるインフルエンザの発生状況について、委員の皆様にお知らせいただけませんでしょうか。

教育指導部長

休み明けは、比較的落ち着いている状況であると思っております。ただし、今週、大曲中学校の１年生の１クラスだけ二日間学級閉鎖をしたところでありますので、これがほかのクラスや学年に拡がらないことを祈っております。今のところは拡大の動きはありませんので、うがいと手洗いを徹底し、十分な睡眠を取っていただくよう学校の方にはお願いしているところであります。

吉川教育長

例年よりは少ないと感じておりますが、中島委員、いかがなものでしょうか。

中島委員

大人を含めまして、１月の第１週目から２週目は比較的多かったのですが、先週から減り始めまして、その時期の半数くらいまでになりました。ただし、このまま終息してくれるのかは不透明な状況です。

吉川教育長

中学３年生は、これから受験を控えて、体調管理が一段と重要になってきますので、十分注意していただきたいと思います。

ほかに、皆様から何かございませんでしょうか。

なければ、教育総務課長から次回の日程についてお願いします。

教育総務課長

来月の定例会の日程について、２月１９日水曜日の午後３時から、ここで開催したいと考えております。御検討をよろしくお願いいたします。

吉川教育長

次回の定例会は、来年度当初予算案件がありますので、いつもより少し早いですが、２月１９日水曜日の午後３時から、ここで開催ということで、皆様いかがでしょうか。

各委員（異議なし）

吉川教育長
　では、次回の定例会は、そのようにさせていただきます。
　本日の日程は、全て終了いたしました。以上で、定例会を閉じさせていただきます。
　ありがとうございました。